

千葉県選手権への出場権について（第7ブロック出場枠は16）

★大会要項16項記載「千葉市の登録受付日4/1までに県選手登録を8人以上行っていること」が条件となります。

千葉市大会における順位・チーム名		千葉県への登録状況・出場順位		
		クラブ	選手(3年以下)	順位
1位	北貝塚 FC	○	○	1位
2位	千葉美浜FCコパソル A	○	○	2位
3位	イーグルス	○	○	3位
4位	大木戸 SC	○	○	4位
5位	Wings U-12	○	○	5位
6位	幕張リパティーズ	○	○	6位
7位	GINGA FC U-12	無し		—
8位	千葉美浜FCコパソル B	○	○	7位
9位	FC BONS	○	6名	—
10位	パディーSC千葉 サックス	○	○	8位
11位	パサニオール誉田FC	○	○	9位
12位	パサニオール誉田FC セグンド	○	○	10位
13位	FC 幕西	○	○	11位
14位	FC クレア	○	無し	—
15位	小中台 FC	○	○	12位
16位	コラソン千葉	○	1名	—
17位	FCラルクヴェール千葉	○	○	13位
18位	葛城FC ブルー	無し		—
19位	レグルス FC	○	○	14位
20位	高洲コスモス FC	○	○	15位
21位	FCおゆみ野 ホワイト	○	○	16位
22位	HAMANO JFC	○	○	
23位	ポカルスFC ロット	○	○	
24位	FCおゆみ野 ブルー	○	○	
25位	花園SC G	○	○	
26位	FC cuore千葉	○	3名	—

会場提供・運営にご協力頂きまして、ありがとうございました。

平成29年度 千葉市少年サッカー大会 3年生以下の部

日時 2017年7月9日(日)

会場 フクダ電子フィールド

気象状況 天候:晴れ ピッチ状況 :人工芝

キックオフ 11時20分

対戦チーム

北貝塚FC

千葉美浜FCコパソル・A

1	1
	0
	-

前半
後半
PK

0	0
0	
-	

戦評

千葉市3年生の頂点を定める決勝戦は、予選から決勝戦まで1失点と安定した守備と攻撃力で勝ち上がった北貝塚FCと、決勝戦まで42得点と強力な攻撃力を兼ね備えた千葉美浜FCコパソル・A(以下、コパソル)の2チームの戦いとなった。

両チーム準決勝を安定した戦いぶりで勝利し、ともに勢いに乗って迎えた決勝戦は北貝塚FCのキックオフで試合が始まった。

コパソルの早いプレッシャーを受けながらも、北貝塚FCが左右にボールを動かしながらボールを保持する展開が続く。すると前半2分、14番秋葉君が中央から左へ流れながらドリブルで突破。中央へクロスもあげられるもDFに阻まれる。その後も立ち上がりは北貝塚FCがボールを保持しながら左右から突破を試みるが、コパソルの粘り強く早いプレスに突破口を見出せない激しい一進一退の中盤での攻防が続く。

そんな中、執拗にドリブルで突破を試みる北貝塚FCが前半5分、右サイドを10番黒須君がドリブルで突破。敵陣深くまで運び中央2番佐藤君へクロスボールを送るも合わせる事が出来ず。それでもさらに攻勢を強める北貝塚FCは続く6分、中央でボールを奪った7番守谷友利ちゃんがボールをキープしながら左サイドの14番秋葉君へ展開。そのまま左サイドをドリブルで突破し、中央へ早いクロスを上げると中央でボールを受けた2番佐藤君がシュートを放つがゴールを捉える事が出来ない。激しい中盤での攻防が続く中、前半10分北貝塚FCが均衡を破る。左サイドでスローインを受けた14番秋葉君がドリブルで突破すると中央へ早いクロスボールを送る。中央へ走り込んだ7番守谷友利ちゃんがボールを受けシュートを放ち先制点をあげる。

ここまで粘り強いDFで北貝塚FCの攻勢を凌いできたコパソルであったが、リスタートからの一瞬の隙を突かれて先制点を許してしまう。

ここで北貝塚FCに流れが傾くかと思われたが、コパソルが攻勢に出る。前半12分、自陣右サイドでボールを奪うと55番中村君にボールを送りショートカウンターで北貝塚ゴールに迫る。しかし、北貝塚FCも体を張ったDFでこれを許さない。

同点に追いつきたいコパソルは高い位置でプレスが掛かり、攻勢が強まっていく。しかし、なかなか北貝塚FCのゴールに迫る事が出来ず前半終了。

後半は、同点に追いつきたいコパソルのキックオフでスタート。前半終了間際の勢いで攻勢を強めたいコパソルであったが、北貝塚FCが好機をつかむ。

後半3分、中央でボールを持った7番守谷友利ちゃんがドリブルで運び中央からシュートを放つ。しかしここはコパソルGK、小池君がしっかりとキャッチ。

さらに続く5分、コパソルのスローインをカットした14番秋葉君が相手を引き付けながら、中央フリーの9番小山君へパス。しかしここはコパソルのDFが早い寄せでシュートを打たせない。前半同様にコパソルは2番平田君、93番下川君、65番田中君を中心に高い集中力と粘り強い守備で北貝塚FCに自由を与えない。守備から良い流れを作りたいコパソルは後半6分、左サイドにポジションの変った55番中村君がサイドを突破してクロスを上上げるなど左サイドを中心に好機を作り出す。ここから徐々にコパソルが中盤でボールを保持する時間が続く。なんとか打開したいコパソルであったが、北貝塚FCも10番黒須君と12番閑君を中心にしっかりとしたバランスでの守備でコパソルにボールを運ぶことを許さない。

残り時間が少なくなってくる中、点を取りにくい事で空いたコパソルのDFラインと中盤の間に出来たスペース、DFライン背後のスペースを北貝塚FCが上手く使い始めていく。

後半11分、奪ったボールを左サイドの14番秋葉君へ展開する。ドリブルで敵陣に侵入すると、スピードに乗ってGKと1VS1からシュートを放つがコパソルGK

小池君が良いポジションからゴールを許さない。

それでも同点に追いつこうと攻撃を仕掛けるコパソルだが、突破口を見出せない。後半14分、北貝塚FCは中盤でボールを奪うと左サイドへ展開。左サイドから絶好のクロスボールが上がると9番小山君へ。追加点かと思われたが、一歩届かず追加点が奪えない。

会場の雰囲気、応援の声もピークを迎える中ここで試合終了。北貝塚FCが前半の1点を守りきり優勝を飾った。

両チーム共に自分たちでしっかりとボールを保持して、ボールを運んでいく、コントロールする技術は素晴らしいものがあったと思う。

また前後半通して高いインテンシティでサッカーされており、ボディコンタクトも激しいものはあったが、正当且つクリーンで観ている清々しいものがあった。

特にボールの奪い方に関しては、プレスのスピードや相手選手との間合い(距離)、チャレンジ&カバーなど、両チーム共に非常にトレーニングされている事を感じた。

両チーム、選手たちのこれからの成長に期待して 心から拍手を送りたい。